

憲法しんぶん速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

第207号

2008年10月8日

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp/>

Tel 03-3261-9007
Fax 03-3261-5453

「新テロ特」延長法案めぐり緊迫！

自民と民主が審議入りで合意 今週中の衆議院突破をねらう

■自・民国対委員長が9日審議入りで合意

7日、自民党と民主党の国対委員長が9日に審議入りすることで合意。今週中にも衆議院で法案をあげ、20日の週に参議院で法案否決、衆議院再可決の危険性が生まれています。

■法案成立に事実、上手を貸す民主党

8日付け朝日は、民主が新テロ特延長法案の「早期採決に次々と応じる姿勢に転じた」と報じました。このことを裏付けるように、本日、民主は届けていた9日の本会議での質疑を取り下げました。伝わってくる情報では、民主が9日の本会議を開かずに直ちに特特別委員会の審議に入ることを求め、参議院でも早期に否決して再可決に道を開こうとしている、とされています。この背景には、民主が継続審議中の「対案」への追及や総選挙の争点化を嫌い、一日も早い解散総選挙を求める事情があります。

■自民党の卑屈なまでの対米従属路線はすでに破綻

福田氏辞任の引き金は、米に約束しながら、世論と運動の前に法案成立の見通しが立たなかったことでした。安倍氏辞任の理由も、「(対米公約の)給油活動を続けるためには、このまま私が職に留まるのは得策ではない」というものでした。卑屈なまでの自民党の対米従属路線が国民の前に完全に破綻しています。にもかかわらず、麻生首相は国連で「日米同盟は不変の基軸」と演説、給油延長の決意を述べました。国民の信を得ていない麻生首相には、法案提出の資格すらないのです。給油するなら燃油高に困っている国民にこそ！いま、緊急の取り組みが求められています。

緊急傍聴抗議行動にご参加を！

○緊急傍聴抗議行動 10月9日（木）10時～ 衆議院議面集合

○緊急議面集会 10月10日（金）12時15分 衆議院議面

★明日の9の日宣伝を始め、旺盛な宣伝行動を！

—呼びかけ団体 憲法会議・安保破棄中央実行委員会—